現代政治論Ⅰ

科目ナンバリング　POL-203
選択　　2単位

鬼頭　　誠

1. 授業の概要（ねらい）

日本政治の現在を、歴史、理論、行動、国際比較なども念頭に、多角的に捉えつつ解説し、議論の材料を提供し、一方、受講学生には主体的に考え発言することを毎回の授業で促します。事例として、毎回、「今朝」のニュース、新聞・雑誌・テレビ・SNS等に登載される報道・論説に注目しながら、授業を構成していきます。

政治学をすでに履修した人、並行的に履修する人、これから政治学を学修しようとする人、すべてを念頭において授業します。

授業は、民主政治体制下の「国民」としての政治的素養を培い、就活・公務員試験にも役立つ知恵を育成することを目標に、双方向性を心がけながら進めます。

2. 授業の到達目標

①実用的で発展的な授業内容の理解と応用ができる
②民主政治の下における主権者国民としての意識が向上する
③就職試験・公務員試験への対応力が向上する

3. 成績評価の方法および基準

授業内評価（レポート、発言、討論）50%、期末試験50%等を合わせて総合評価

4. 教科書・参考文献

参考文献
日刊の新聞各紙、月刊『中央公論』
宇野重規　民主主義とは何か　講談社現代新書

5. 準備学修の内容

SNS情報の収集だけで停止せず、日々、自宅や図書館で新聞を読み、政治ニュースに関心を高めることを習慣づけて授業に臨むことを求めます。授業で使ったプリントをフル活用して期末試験（授業内試験）に挑戦します。毎回の授業は録画録音されますから、復習などに活用します。

6. その他履修上の注意事項

シラバスは目安で、適宜変更することがあります。近年まで政治・外交・憲法担当の新聞記者でしたので、日々の新聞報道を活用した授業を心がけます。

授業中の行動はすべて就活に直結すると考えて、礼儀正しく、現実的、前向きに授業に臨みましょう。

7. 授業内容

【第1回】　日本政治の捉え方――現代以前の日本　イデオロギー（主義、イズム）と政治のかかわり　フェーク情報・法意識・地方自治意識
【第2回】　日本政治の原風景――幕藩体制から明治政府へ
自由主義
【第3回】　戦前・戦後の政治主導（近衛、東条、吉田、鳩山、岸、池田）　民主政治　参考図書＝宇野重規著「民主主義とは」
中国の南洋進出　台湾問題　G7
【第4回】　国家の枠組み――「令外官」（りょうげのかん）の伝統を考える
安全保障　反撃力　緊急事態
【第5回】　日本の民主政治――外国の政治体質と比較してみる（コロナ感染を素材に）
日本人の議論嫌い
【第6回】　日本民主政治――背後にある「日本教」
中国問題　ロシア問題　サイバー　ハイブリッド　スパイ
【第7回】　日本の民主政治――世論調査の影響力
政治意識＝バランス感覚、チャレンジ精神（横並び志向）、固定観念（保守、守旧）、長期的視野（場当たり的）、、、、
【第8回】　参議院議員通常選挙を前に課題を考える（6月15日国会閉会　7月10日通常選挙を想定）
世論調査　コロナ対応　野党の課題
【第9回】　参議院選挙を前に　G7サミット（ドイツ・エルマウ　6月26～28日）の論点
【第10回】　参議院選挙を前に　G7サミット（ドイツ・エルマウ　6月26～28日）を総括する
【第11回】　参議院選挙を前に　日米安保体制（「アメリカのいいなり」論の真偽）
【第12回】　参議院選挙結果を検証する
【第13回】　地方政治と分権、存在感を増す女性の力
【第14回】　【オンライン授業】中国問題、自由民主の政治を脅かすもの
【第15回】　全14回のまとめを兼ねて授業内試験

（注）以上のテーマは、時事報道の動向により、変更する場合があります。